제337호 1910. 2. 18.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久砂一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

寄書

叙勲か賜金か

旭川

市場税の賦課徴收に平かならず、蹤火漢人の狂暴事を演出したる順川市民中に在りて單に其の暴動に加擔せざりしのみならず却つて擾亂の民の重圍に陷れる邦人を救ひ出し、種々なる手段に依りて遂に全く是れを危險より脫せしめたるものに金任黃（野澤財務主事の妻子を）朴養基（木村の妻子及教師木島榮三）韓西晝（西喜一郎と）朴召史（中島の妻及び三名の小兒を）等ありと傳へらる吾人日本人たるもの以如何の辭を以て此れに感謝の意を表せんとはするぞ。財を散じて窮民を饑餓より救ふ猶ほ甚だ爲し易からず、況んや身を賭して此の仁を爲すことをや、此の心直ちに基督の精神たり、此の行や直ちに佛陀の行にあらずや。苟も生を人類に享けたるもの〻深く感謝せざる可らざる事に屬す、而して狂暴殘忍野獸に比しと云はれたる順川市民中に此の人を出したるは日本人の爲めよりは寧ろ韓國の爲めに大なる功勲を樹てたるものと云ふを得べし、何んとなれば偶々此の事ありて以て同市民の暴動の根抵なき一時的發作なるを證據立てらるればなり、又況んや此の二三者の行に依りて韓國民の全部が決して日本國民の全部を排斥し格拂せんとするものにあらざるを證據立つる上に於て最も力あるものと見るを得べければなり。財務主事の職務に殉れたるに對し四千二百圓を下賜したる韓政府は、韓官吏もなす能はざりし暴動中に於て自身の危險を顧みるなく幾多の人命を保全したる此の偉勳者に對し何を以てか酬ゐんとはするぞ。日本政府又相當報功の措置を執らんことを切望す。叙勳か賜金か予は刮目して其の爲ん樣を監視せん哉（十六日稿）

雜報

郵便貯金利用に就て（下）

（矢野業務課長談）

▲紀念又は謝恩の爲めにする据置貯金 高貴の御方より下賜金を頂戴し又は自己の敬愛すべき名士等より寄贈金を受けたる場合に於ては其の下賜金又は寄贈金の全部を据置貯金として郵便局所に預け入るゝこと〻せば紀念又は謝恩の意思を表彰する方法として頗る良好の方法なりと信ず何となれば右の貯金通帳には預け人に於て其表紙の餘白に貯金の目的を表示すべき簡單なる文詞紀號を印刷又は筆書することを得ればなり現に此方法は韓國內に於ける小學校生徒等の間に實行せられつゝあるを聞けり

▲烟草貯金 喫烟の健康に害ある以何人も認むる所なるが之を實行すること頗る困難なり依つて此喫烟を禁止するの一方法として所謂烟草貯金なるものを行ふも亦妙なりと云ふべし此方法は喫烟家が一ヶ月又は一週間內に喫烟の爲め費消する金額を豫算し其全額を郵便貯金となすにあり此貯金を行ふときは一方に於ては克己心修養の目的を達し他方に於ては健康保持の利益を得ると同時に知らず知らず多額の貯蓄を獲得するを得べし即ち一擧三得の利ありと云ふべし

▲御祝儀貯金 多數の傭人を使役し若は多くの兒童を有せる人々にありては中元又は年末年始の御祝儀として彼等に幾許かの現金又は物品を給與するは一般の慣習なりと雖も現金は兎角濫費せられ易き惡あり又物品は受くる人に依りては左まで難有からざることあり仍て右の方法に換ゆるに御祝儀として相當の金額を給與すると同時に之れを郵便貯金となさしむるに於ては濫費の恐れなきのみならず傭人又は兒童等に貯金の觀念を養成し得るの利益ありと信ず現に此方法は京城にても二三の實行者あるを聞けり以上述ぶる所は貯金の利用方法として頗る有益なりと信じ敢て有志者の實行を希望す猶規約金据置貯金等の詳細なる事項に關しては最寄の郵便局所に於て問合はせありたし

木浦綿花市場（二）

▲木浦稅關支署調査

▲臨時棉花栽培の計畫 臨時棉花栽培所は米棉のみの植付を奬勵するの目的を以て設立せられたるものにして明治三十九年度に四十五町歩同四十年度に六十五町歩を同四十一年度に二百町歩を同四十二年度には四百三十町歩を植付け本年度には九百町歩に及ぶの計畫にして即ち毎年二倍半の增加率を以て進むの豫定なりと云ふ今全羅南道に於ける耕作地は大約五萬町歩に擴張され得る見込にして今後十年後には悉く米棉となすの豫定にして一反歩に付約百二十斤を產出せしむべき計畫にして此價格七、八圓（市價にあらず）とするときは三百五十万圓乃至四百萬圓を以て終點とすと云ふ然れども市價は前年の相場により之以上に上るべきは論を俟たず

▲當港に於ける繰綿工場 一は綿花栽培協會の設立に係る韓國綿花株式會社にして其資本金二十萬圓なり原動機械は六十五馬力にして繰綿機三十臺を有し女工七十人を使用し電燈十六燭光四十三個を備へ本期に至りては昨年九月二十日頃より開始し本年四月中旬まで繼續の見込にて此期間に於て約三百四十萬斤の實綿を製繰して約八十四萬斤の繰綿を得ると云ふ他の一は福田又兵衛なるもの〻設立せるものにして資本金三萬圓を要し原動機械は五十馬力繰綿機三十三臺を有し工女九十人を使用し電燈十六燭光三十七個を備へ本期は矢張昨年九月廿八頃より始業し本年四月中旬まで繼續をなし約三百五十萬斤を製して繰綿約八十萬斤に製繰すと

◎新刊紹介

▲政友（百十五號） 關東大會に於ける政友會各元老株の演說及び議場の豫算案等は大に注目すべきなり（東京市芝區立憲政友會々報局發行）

▲教學倶樂部（六號） 中學程度の教學雜誌として最も良く而して獨學者のためにはこの上もなき材料あり（東京神田區北神保町帝國學會發行）

▲日韓實業界 塚本工學士の韓國產業獎勵と特許制度の關係は苟くも韓半島に事業を起さんとするものは必ず一讀すべし（東京々橋木挽町日韓實業界社）

▲東京經濟雜誌（第一千五百二十九號） 外國貿易の趨勢に依りて我が國民經濟力を測量したる最も良し（東京々橋彌左衛門町經濟雜誌社）

▲富の日本（第一卷第一號） 該雜誌は本年二月十一日を以て初擧を上げたるものにして主として本邦經濟狀態を論ずるものなり（東京芝白金三光町富の日本社）

▲新衣裳（九三號） 京都烏丸飯田吳服店

▲大連航路案內 該書は獨り航路のみならず滿洲に於て旅館及び各名勝地等漏す處なく記載しあり（大阪商船會社）

日本銘刀傳

第四十五席 邑井一講演

又木村の妻女が剛いもので、重成が相果てるまへに、重成を諫めたところの書面を贈つたと云ふこと、人の妻はさうなくては叶はぬこと さだ「夫れでは木村重成のお內儀さんは、御亭主が死ぬ前に……… 源「討死せよと云ふ手紙…… さだ「どんなことを書いて送りました 源「斯う云ふ文で、私も覺へて居ります、一樹の蔭、一河の流れ、これ他生の緣と承はり候にこそ、抑も一昨年の頃よりして偕老の枕を並べ、唯だ影の形に添が如く思ひ參らせ候、此の頃承はり候へば、此の世限りの御催しの由、嬉しう思ひ參らせ候、唐土の項羽とやらんは世に名高き武士なれども虞氏の爲め名殘りを惜み、木曾義仲は松殿の局に別れを惜むと聞く、去れば妾は御身御存生中に最期を致し、死出の山とやらんにて待受け奉り候、必らず〳〵秀吉公多年海山の御恩御忘却なきやう、賴み上げ參らせ候、かしこ

長門守重成樣 妻より

源「我死して夫の死を妨げず人の妻は斯くありたき者 さだ「アゝ妾も御亭主を持ちましたならば、さう云ふ心になりませう」と思はず言つて見上げるさだ、計らず熟と眺めた上田、木石ならぬ兩人が仲、夫れとは言はねど互に物思はしげに二階を下りる見下す上田源之助、以心傳心と云ふは是れから……明日出立うと云ふと、此の娘が少し加減が惡うございますから、斯う言つて出立ない、上田さんの所に御飯は妾が持つて行きますと、文珠龍右衛門の內儀さんが持つて行くのを、自分が持つて行くなんと云ふ變な眞似をして、遠くて近き男女の情、いつか解けたる下紐の、遂に其の儘に別れて故鄕木津村に歸ります、すると上阪仙太郎が驚いたのは、翌年の春に相成つて居る、こりやアどうも變だ、身重になるといふのは妙だと、不思議に思つて 仙「何うした」と尋ますると さた「實はあの上田樣のお情を…… 仙「イヤこれは困つたな、どうも早や、さういふことに成行つては仕方がない、文珠龍右衛門に懸合う」と手紙をやつた、龍右衛門は驚いて 龍「上田さんのチヨツケイの早いには困つちまつた 上田さん、一寸此處に」源「なにか御用がありますか」龍「御用がありますかつてお前さんは木津のおさださんを摘みましたね」源「一寸一臡頂戴を仕つた」龍「冗談ぢやアねね、もう身重になりましたぜ」源「エヽッ……たつた一遍で……」龍「辨慶ぢやあるめえし、たつた一遍も何にもねね、斯うなつちやア仕方がねね、お前さんの妻だ、是非婆子に貰ひてねつて先方から言つて來てゐる、お前さんは別に親類はなし幸ひ今どうかうといふことはねねから、江戶奴の庄吉を媒妁人に立つて、彼處に養子に行つたらどうです、否應といへばお前さんの爲めにならねねがどうです」斯うなつたからには、今更否とも言ひ兼ねたゆゑ 源「然らば宜しなにれ賴み申す、これも出雲の神の結びたる緣でがなござらう、遂に上阪仙太郎方に文珠龍右衛門が口入れ、江戶奴の庄吉が媒妁人で、芽出度婚姻を取結んだおさだとの仲は固より惡からう筈はない、そこで上田源之助が木津村に來るといふと、先生〳〵と仰がれ、劍術は柳光流を能く遣ひ、書も能ければ辨も達者ゆゑ人の口を利くといふので、おさだは喜んで居たところがさういふことでおつたか、十三箇月で子供が生まれた、オギヤーと生まれたは男の子、弘化四年の一月、名前を仙吉と名付ます、上阪仙太郎もまア〳〵、初孫の顏も見たと喜んで居た、この兒が丁度四つの時でございます、それまではお話もなく嘉永の六年、浦賀にペルリが來泊したといふことを聞いて上田源之助は碌々として居ることも能はず、彼の梅田源次郎は妻の病床に臥し、子の飢へに泣くのを棄てゝ、外夷を攘はんとしたりとかや妻子に拘泥して、外國人を打攘うことのならぬことは何事ぞ、我日本は神國なり、いでやそれを攘ふて與れんと、一途を通して遂に浦賀に出掛けた切り音信不通

東京電報

▲英大使の臺灣行

英國大使マクドナルド氏は大使館付武官及び隨員從者を隨へ本日新橋發十八日神戶より鎌倉丸に搭じ臺灣觀察の途に上る筈（十六日）

▲出品輸送の完了

日英博覽會事務局直接扱の出品は本日横濱出帆の加賀丸にて輸送せし分にて悉皆完了せり輸送品は全部古代美術品で千四百余點に上り保險金額總二百万圓余に上れり（同上）

▲文官任用令撤廢

小川平吉氏の提案にかゝる文官任用令の撤廢建議は下院を通過するも疑なきも政府は飽迄之に反對すべしと（同上）

▲ルーズベルト氏渡日の言明

前米國大統領ルーズベルト氏は亞弗利加壯遊の歸途日本に渡來し暫時滯留する旨言明せり

▲又新會と新政黨

又新會は昨夜代議士會を開き進步黨に合同して新政黨を組織するの件を議決せり（十七日至急私報）

▲總豫算と貴族院

下院を通過したる四十三年度歲入歲出總豫算案は三月七日貴族院の本會議に附せらるべし同案に對しては政府對政友會の妥協に不滿を抱ける硬派議員多數あれば結局通過する見込みあるも一大紛議は免れざるべし（同上）

▲隈伯と韓國問題

韓國鐵道及關稅問題に就き上京中の代表者は本日大隈伯を早稻田邸に訪問し伯の對韓政策を聞く所ありたり（同）

▲韓銀提案の可決

本日東京商業會議所樓上に於て開きたる韓國銀行總會は提案通り可決す（同）

大連電報

▲旅順獄內の兇漢

水野辯護士は旅順監獄に安重根を訪ひ控訴するや否やを問ひたるに安は自分は裁判には不服なるも命を惜みて控訴せりと世間より指彈せらるゝが故に熟考の上決心すべしと答へたるが多分控訴せざるべし又同辯護士は安の母が家門の名を汚す勿れとの事を新聞に掲載せられたることを傳へしに安は母の慈愛に感泣する旨を述べたり（十六日）

上海電報

▲廣東暴動の詳報

外務省に達したる廣東暴動に關する後報によれば廣東新軍所屬兵は去九日巡警と些細なる事より衝突したる結果當市の東端を去る一里半の燕塘に駐屯せる砲工兵七八百名步兵六七百名廣東旅團司令部の火藥銃器彈藥を奪取し暴動を爲し燕塘の東北方に至る一帶の地域は戰鬪地となり今尙李水師總督は機關砲を初め精良の武器を携へ巡兵隊を卒ひ銳意討伐に從事し相互に死傷多數を生じ廣東の城門は閉鎖せられ內外の交通杜絕し電話線は悉く切斷せられ暗號電報取扱は停止せられ爲めに廣東一帶に戒嚴令は布かれたり交戰地附近には多數の本邦人來住せるより堀事務官は戰鬪の巷に出張商工局を訪ひ之が保護方を依賴尙萬一を慮り廣東居留地に婦女子を避難せしめ騷擾一方ならざりしが居留地附近には各國軍艦碇泊し居れば今や人心安堵に歸したり暴動原因は舊軍旅團長に對する不平及び商工局の軋轢三合兵士の煽動によるものなり汕頭に碇泊中の寺垣艦隊の須磨、明石、宇治は急に接し宇治を急派して本日廣東着の筈なり

▲廣東叛兵の敗走

李總督の討伐効を奏し九江附近の叛兵約百餘名は死傷を遺棄して北方に退却し步兵營所三ヶ所燒棄せられたるが今や全く敗滅に歸し今後勢力を恢復するとなかるべし而して敗兵の總數は不明なり（同上）

歐洲電報

▲毎日電報の記事

東京毎日電報の獨乙皇帝陛下に關する記事は頗る不謹愼なりとて到る處に激昂憤慨せしめたるが而も政府は獨紙が之を排日策に利用せんとするを恐れ極力妨止中なり（十六日着）

▲英國議會の再開

英國議會愈々再開せられたるが議長は再選せられたり（十七日）

雜報

德壽宮御訪問

韓皇には十七日各皇族、各部大臣、宮內官其他を從へさせられ第二公式にて御豫定の如く午前十一時敦化門出御、罷朝橋、鐵橋、鐘路、黃土峴、新橋、布德門前路を過ぎ大漢門を經て十一時二十分德壽宮に行幸、午後一時異殿、景孝殿を展謁、懿孝殿を展拜ありて同三時三十分還御相成りたり

市場取締の統一

全道市場に關する事務は農商工部の所管なるが之が許否取締に關する目下の狀態を見るに各道各樣に涉り居るのみならず吾が理事廳の所在地と觀察府との行政往々其統一を缺ぎ弊害の及ぶ處尠に看過すべからざるものあり元來韓國に於ける市場制度は多年の歷史を有し商業上最も重要なる一機關たるものにして總ての取引は悉く此市場に於て行はるゝ位なるに其許否取締斯の如く區々たるを以て韓政府當局者は夙に此問題に關し考究する處あり一方日本側官衙と交涉中なりしが漸く落着し近々其手續を發布して該行政の統一を計る由なり

暴動と地方狀況

西韓に於ける暴動後の昨今の狀況を聞くに順川楊市等は表面頗る平穩に歸し居れるも各地に逃走したる暴動者は逮捕を恐れて今尙歸來するものなく彼等の家族は甚だしく不安の念を抱き居れり其他の地方に於ても是亦靜穩なるが如き觀あるもこは警備の完備せる爲めにして若し夫れ之れが警備を解く時は肅川、安州、鐵山、寧邊の地方何時紛擾を見るやも計られず而して南北韓の地到る處順川楊市の暴動事件を誇大に傳へられ人心稍々昂騰せるが如き觀あるも此等の地方に於ては過般の如き紛擾を見ること萬々之れ無かるべし

●韓國留學武官成績

第三次日韓協約の結果廢校となりたる韓國武官學校の學生中學術技藝に於て優秀なるもの四十二名を選拔し昨年九月我が中央幼年學校に入學せしめ日本學生と共に嚴格なる軍事敎育を施しつゝある韓國留學武官等は其成績頗る良好にして中には日本學生をも凌駕する程のものあり殊に驚く可きは語學の進步にして渡來日尙は淺きにも拘はらず既に滔々日本語演說を爲すものあり日常用語等に至りては寧ろ日本人同樣に巧妙なり彼等は平生其母國政事上の問題等には毫も耳を貸さず一意專念其課程に勉勵し居れども伊藤公遭難及び李完用遭難當時には少なからず不安の狀を現したるが敎官の常に訓戒せる韓國の現狀、日本との關係、韓國民の義務等を能く了解し居る事とて最も愼重に敎官の指示を遵奉して苟も之に違ふが如き事なく將來我が士官學校卒業の曉には直ちに親衞隊士官に任命せらるべく之等は皆日本の事情に精通せる未來の近衞士官たるを以て日韓兩國均しく其の前途に望を囑し居れりといふ

●統監の領事團招待

本月二十八日（月曜）統監邸に於て午後七時より領事團招待晩餐會を催し終つて午後九時より夜會を催す筈にて昨十七日曾禰統監の名儀にて夫々招待狀を發したり當日の來賓は馬淸國領事同夫人、クルーゲル獨領事同夫人、サモー露領事同夫人、ボーナー英領事同夫人、シドモア米領事、ベルアド佛領事同夫人、ベルレー白領事尙は陪賓として大久保大將、木越中將、小宮、荒井、木內、俵、國分、小松の各參與官同夫人、榊原少將、石井少將、明石少將、三浦理事官同夫人石塚長官夫人等を招待せり

●統監邸夜會出席者

來る二十八日午後九時より統監邸に於て夜會を催す筈にて曾禰統監の名儀にて招待狀を發したり當日の出席者は別記各領事官文武官同夫人の外左の諸氏を招待す

渡邊判事、國分檢事、吉原副總裁、岩野判事、鶴尾技師、若林總監、松井局長、世古檢事、鶴田軍醫監、小倉主計監、林理事、井上理事、水越理事、鈴木局長、深田局長、岡本局長代理、中村局長、黑岩技師、鍋寺長官代理、城判事、中山判事、中村判事、頭本夫人、中山書記官、前間通譯官、本田通譯官岩井技師、鳥居通譯官、渡邊書記官難波通譯官、入江書記官、今村書記官津輕囑託、古城民長、和田議長、淺野出張所長、芳川寬治各夫人、岡本參謀竹本副官、佐藤參謀長、甲斐副官、日疋整理部長、北村軍醫部長、五十君聯隊長藥師川副官、山形分隊長、十時副官

●林業事務會議開催

農商工部は去る十五日より京城、鏡城、平壤、水原、大邱、木浦の六林業事務所長を山林局に召集し會議を開催し居るが今其會議事項を聞くに左の如し

一、植栽並に苗圃事業に關する件
二、官民有地區分標準に關する件
三、造林事業奬勵に關する件
四、造林地の保護に關する件
五、種苗無料配付に關する件
六、保安林の調査並保護に關する件
七、林籍調査に關する件
八、主副產物拂下及部分林設定出願の實地調査に關する件
九、經費支辨に關する件
十、前渡金仕拂に關する件
十一、物品出納に關する件
十二、森林山野に關する舊慣制度等の調査に關する件
十三、法令規則改正に關する件

會期は四日間にして既報森林經營に關する基礎調査を爲す事に決定せるを以て之が打合をも爲し旁々造林畫圖の改正に關する協議を行ふ由なり

●鴨綠江の流域改修

鴨綠江採木公司の森林伐材事業は年々擴張するの方針を以て着々諸般の設備を爲しつゝあれども經費の都合上今幾かに完成を期すること能はざるを以て差當り運材上の利便を圖る筈なるが每年三四月頃百五十淸里の筏を以て木材を流下するに際して江流中に岩石又は灘等の如き障碍物あるが爲め時々筏を顚覆して人命を傷け木材を害ふ等の事あり年々之れが損害は二三十萬圓に達するを以て採木公司にては玆に河身の改修を認め既に昨年八月より工事に着手したるが實際之れが完成迄は尙二三年を要すべく其の費用亦巨額に達すべきも將來に於ける運材上には多大の利便を與ふ可しとなり

●釜山稅關管轄區域

韓國稅關管轄區域の變更せる結果釜山稅關管轄の區域は從來より大に擴大せられ從來は江原道江陵より慶尙南道と全羅南道の道境までなりしが今回は凡て道境を以て管轄區域の境界と定め即ち北は慶尙北道と江原道との境なる平海にて元山稅關と南は全羅南道と全羅北道との境なる茁浦にて仁川稅關を境するに至り殆んど全南道の一部釜山稅關に附加したるの有樣なれば同稅關にては三千浦に今回監視署を設置したる如く近く沿岸を視察の上樞要の處には監視署を設置すべき計畫なりと云ふ

●警察官の死傷病者

隆熙元年七日暴援事件以降昨年十月迄の間に於ける暴徒の偵察討伐及犯人逮捕等に從事し死傷したる者並に防疫事務に從事し感染したるもの左の如しと

種別	死者	負傷者	病者
日人警視	一	…	…
韓人警視	一	一	…
日本警部	三	三	一
韓人警部	四	二	…
日人巡查	二七	五六	五
韓人巡查	六〇	二七	…
計	九六	八九	六

●魚附林の調査進行

韓國各地の魚族蕃殖を計る爲め魚附林造設の必要なることを認め水產局に於ては目下專ら調查中にして未だ場所は確定せざるも全國に涉り四百餘箇所に及ぶ見込みなるが調查終了後場所確定したる上同時に造林するは韓國現時の財政狀態上或は困難なるべきを以て重なる箇所より漸時着手する筈なり

●漢城衛生會の豫算

隆熙四年度漢城衛生會の豫算を聞くに歲入廿三萬千九百六十二圓七十七錢にして歲出は十八萬八千九百四十五圓十三錢にして前年度に比すれば歲入二万四千七百六十圓八十七錢同歲出に於て五万二千百四十五圓二十七錢を減せり

●大韓毎日發賣禁止

昨十七日發行の大韓毎日申報は治安に妨害ありと認められ其發賣分布を禁止せられたり而して當局者の談によれば右は李宋密會の記事にあるが如く推測するものあらんも禁止の理由は他に揭げある暴論によれりと辨じ居れり

●萬壽節と淸領事館

來る二十二日（陰曆正月十三日）は淸國宣統皇帝の万壽節に相當するも現に二十七ヶ月の宮中喪期內にあるを以て當地淸國總領事館にては祝賀を受けざる旨統監府各部官廳に通知ありたりと

●學校敷地認可申請

第三小學校敷地は既報の如く櫻井町に決定したるが今明日中に其筋に認可を申請し指令達し諸第工事請負に關する公告を爲し競爭入札に附すべし而して學期迄には一部落成せしむべしと云ふ

●地方制度調査會議

昨十七日午前十一時より統監府に於て地方制度調査會議を開き石塚長官荒井、木內、俵、松井、國分、小松各參與官及鈴木澤田兩局長中山書記官等出席したりと

●豫算貴族院通過期

來年度豫算案の貴族院通過は來月七八日頃なるべしとの電報統監府に達せり

●咸南警察署長會議

來る二月二十一日より咸興に於て咸鏡南道管下の警察署長會議を開くと云ふ

●敍任辭令

二月十五日附を以て左の通り任命ありたり

農商工部技師　山本小源太
任臨時棉花栽培所技師兼種苗場技師　敍奏任官二等
農林學校教授　岸秀次
任種苗場技師敍奏任官二等　勸業模範場技師兼臨時棉花栽培所技師　佐藤政次郎
任種苗場技師敍奏任官三等
農林學校教授　指宿武吉
任勸業模範場技師兼種苗場技師敍奏任官四等

東拓事件の棄却

東拓會社第一回株主總會無効宣言請求に關する係爭事件は曩に峯岸氏より高橋、木尾、岩田、皆川、本田、岩本各辯護人を代理とし高等法院へ上告に及びたりしが一昨十六日棄却せられたり

農工債券の賣切

昨年六月韓國政府保證の下に七步利付を以て發行したる農工債券六十萬圓は其の當時一般の賣行捗々しからざりし爲め政府は五十萬圓を引受け居りしが近時金利の下落に伴はれて賣行き頗る好氣配を呈し昨今に至りて遂に賣り切れとなりたる由なるが買方の大手筋は銀行側にて小口は官吏が貯金の爲めに買入れたる者多しと云ふ

●平壤街鐵營業成績

平壤市街鐵道合資會社の昨四十二年七月一日より同年十二月三十一日に至る下半季間に於ける營業成績を聞くに同期間の乘客人員三萬七千四百三十七人その乘車賃金三千六百五十二圓九十五錢にして之を前年同半期に比すれば乘客にれいて約一千人賃金にれいて九百五十五圓十一錢の增加なり然れども其の收支に至つては同期間にれいては客車修繕、線路移轉費、借入金利子返還等時に多額の臨時經費を支出したる爲め結局多少の缺損を生じたり又同期間に於ける車押人夫賃總額は一千七百十九圓二十九錢にして一日平均九圓三十四錢四厘之を運轉車輛十七輛に使用するところの人夫頭數三十四人に割當れば人夫一人一日の收入は平均二十七錢五厘弱なりと云へり

●釜山民團債現在額

釜山民團債は水道敷設、兩山開鑿費用の特別團債を除き所謂民團債の現在額は三十一万二千圓にして四十二年度に償還すべき額一萬一千圓なり故に四十二年度末の民團債現在額は三十萬一千圓にして四十三年度に更に借り入れの豫定額二万四千圓を合せば三十二萬五千圓の民團債となる譯なり併して四十三年度に於て償還額は五萬六千圓なれば本年度末の民團債は二十六萬九千圓となるべき筈なり其償還すべき財源は凡て民團所有の土地賣却代を以て充つる都合なりと又四十三年度中に償還すべき利子は二萬七千四百五十六圓余也

●民團豫算の編成期

目下編成中なる四十三年度の京城民團豫算は大體の編成は既に結了し現に各課分擔して再調査中なれば本月末までには全部結了するに至るべしと云ふ

●韓銀開城出張廢止

開城に於ける韓銀出張所は同地漢湖農工銀行支店と並立の要なきに就き來三月一日より韓銀出張所を廢し同事務は農工支店に於て取扱ふ事となれりと

●英國副領事の旅行

京城英國總領事館副領事オスワルド、ホワイト氏は去る十五日京城出發、釜山を經て元山地方へ赴きたるが歸途は元山より陸行して歸京すべしと云ふ

●鐵道同盟常議員會

韓國鐵道期成同盟會は昨十七日民團樓上に常議員會を開き寄附金募集に關する件及び其他二三の常務を協議したりと

●新任技師と其任地

別項棉花栽培所及種苗場技師の新任地は山本技師は光州岸技師は全州佐藤技師は晉州指宿技師は公州なりと

●架橋と韓人の反對

麻浦架橋問題に對し仁川の韓人商業會議所に於て猛反對の決議を爲し其筋に許可取消の請願書を提出すべしと云ふ

●兩少將統監府訪問

明石參謀長及び榊原憲兵隊長は昨十七日統監府に石塚長官を訪問したり

●山本技師送別會

別項臨時棉花栽培所（木浦）技師に轉任したる山本技師の爲め農商工部各局課員は十九日午後六時より淸華亭に於て送別會を開くと

●松井局長招待會

松井警務局長は十六日夜各參與官、警視總監、石井少將其他知名の士を天眞樓に招待したり

●吉林丸の入出港

御用船吉林丸十六日大連より仁川入港午後門司に向ふ

●安原財務官入京

光州財務官安原時太郎氏は十六日入京佐藤旅館に投宿

●大岡社長の上京

京城日報社長大岡力氏は十七日午前九時南大門發東上

韓國漁業の將來

島根縣水產技師談

韓國沿岸を視察し來りて目下滯京中の島根縣水產技師西高慶之助氏は往訪の記者に語つて曰く韓國の沿岸は到る處魚族多く漁場として佳良なるのみならず之れに完全なる漁業方を執る時は韓國に於ける最大富源なり、而して沿岸中東南の兩海岸を最も良とするも就中慶尙南道は暖流と寒流との出逢ふ處なるが故に該處は魚族の最も多く集中する場所なれば從來本邦漁業者の出漁するものも從つて多く漁期中は中々盛んなるものなり、之れに次ぐは江原道沿岸にして鰯、鯖の漁獲に於ては韓國中其の比を見ざる程なるが該所は地形の關係上本邦漁業者の出漁するものは僅少にして多くは韓人が不完全なる漁具に依りて漁獲しつゝある位なればあたら有望なる漁場も南韓のそれに比較すれば發達の微々たる事驚くべきも今後發展の余地は歷然たり然れども現在に於ては江原道が如何に有望なりと雖も今少しく交通機關を與ふると一方には從來の如く韓人の不完全なる漁具のなすがまゝに委せず本邦に於ける有力者の後援を有する漁業家をして永住的に移入せしめ斯業に從事せしむれば獨り江原道の如き疲弊したる土地のみならず南韓の如き幾分發達したる漁場と雖も尙一層振興するに至るは疑を容れざる處なり、抑も島根縣が韓國沿岸に多數の出漁者を送遣するに至りたるは明治四十年なりしも當時は暴徒の最も跋扈したる時代にて其れが爲め不幸にも好果を見ずして引上ぐるの止むなき運命に至れり、而して爾來約一萬一千圓位の補助を與へて年々二百名位の漁業者をして出漁せしむるも其の內四分の三は大抵通漁にて一分が漸く土着的の漁業に從事し居れり本縣漁場は從來蔚山以南なりしが本年度よりは更らに其の漁區を擴張して江原道の竹邊附近にも漁場を設け出漁なさしむると同時に通漁は絕對に許可せず總て十年計畫を立てしむる方針なりされば之れ等が模範となりて從來の一時的より永遠的に移るは必然なるが故に漸次に東海岸も發達するに至るべし、永住的は東海岸にのみ必要なるにあらず韓國沿岸到る處必要なれば斯業に從事するものは須からくこの心掛なかるべからずと說き來りたる氏は更らに話頭を轉じて過般韓政府が發布されたる漁業法案は一得一失を免がれず何となれば規則の發布以後は漁場の爭ひも惹起する事なく至極平穩に從漁するを得るも一方には一定の區域を制限さるゝものなれば據以外に魚族の群集するも之れを漁獲する能はざるを以てなりと云々

新町の魔窟

▽小間物店が表看板
▽裏は女郎の花合戰

當地新町遊廓の這入口表面を小間物商と云ふ美くしき看板にて飾り其の實裏手の長屋にて遊廓各樓の藝娼妓共を引張り込みて雨や坊主の花合戰を開帳なし居る遠山某と呼ぶ不埒なる男あり初めの程は同廓にてピーピーの笛の音さへもいと慣れなる按摩稼ぎに細々其の日を糊し居たりし男なるが生來頭に一物ある白徒とて聊か懐中の暖もるに連れ徐々地金の賭博を初め果ては常業の按摩は其方退けとなし夜も日も賭博に日を送りたる天罰は的面僅かの貯金も耗つて了ひ身働きさへも出來ぬ始末となりたるより己むなく今度は同廓待合の車夫と迄成り下り當分の間は車挽子を稼ぎ居たるが惡運と云ふ者何處から伺ふ機つて來る者やら這麼奴にも運と云ふ者向いて來て弗と手を出した丁半から飛だ芽が發て頓々拍子僅かの内に數百金を摑みたるを幸ひ仲間の者にも無斷の儘に一反歸國なせし上僅かの小間物を仕入れ來り口を拭ふてハイ今日からは眞面目で商賣致しますさ廓一統を振れ廻り按摩時代の得意先を軒別に廻り行きては品物を賣り込つゝありしが元來の曲物到底這麼手ぬるき事にて得心爲さうな筈もなく何日しかれ得意先の妓共等の室にて花合戰をれつ開き甘い妓の財袋の底を叩かせ居たるが未だ是れにて得心行かず些々貯めた水泡錢にて自宅の裏に長屋を借り受け茲を女郎の集會所となし朝より晩迄熊鷹眼の花合戰に無中なりとの事なるが此れが先づ第一の旗頭とも云ふべきは井門支店の月枝と呼ぶ女郎にて已が情夫の此の長屋に居住なし居るを幸ひに朝晩通勤怠りなしとの事なり其他他樓の女郎共も頻々として此の秘密の魔窟に出入して花合戰に餘念なしと聞くが斯かる事とも知らぬ樓主は遠山の店に出掛ける妓共に何等の不審も起さず笑々者とは至極御結構なる次第かなされ遠山の不埒も元よりなれど各樓主の御連中も廓取締の風紀上些と目を覺したが可かんべい

縺れ糸（續）

▽離縁狀が抑もの原因

然るにたねは着坂後直ちに以前の知り合なる足立豐藏方を倚り往き一と先づ同家に足を止め居る折柄一兩日をも經ぬ内京城男時の元より突然離縁狀を仲介者足立宛に送り來りたるにぞれたねの驚きは如何ばかり顔色替ゑて結束なし再び京城指して大阪を出發なしたるは同月二十四日の事なりき去るにても仁子男時が何故斯くも不意に妻たねを離縁するに至りたるかと云ふに元來たねは入嫁後既に三年間を經過し居るにも拘はらず未だ入籍の手續きなし非ざりし爲め昨年五月手續き上謄本入用の爲めたねの國元に右の趣き申送りし處其後たねの友達なる女が該謄本を持參來京なせしより兼々妻の生ひ立ちに就て其の伯母なる者より面白からぬ噂を聞き居たる男時は之を好機に前記友達なる女に夫れとなく聞きだしたるに伯母なる人の言の葉と友達の云ふ言葉とは全く一致なしければ斯くては仁子家の家名を害なう因なりと想ひ倩こそ茲に妻たねを離縁するの動機を生じたるなり然るに大坂を發したるたねは同月廿九日南大門に着するや直樣良人男時の宅に歸り來り何故離縁をなしたるかと血色替へて談じ出したるより男時は徐ろに妻が國元にありし頃可からぬ行爲のありし事を說き聞せ是が證明出來ぬ上は離縁するより外はなしと云ひ放ちしにぞたねも必死となりて辨明し兎に角父か兄かを呼び寄せて乾度疑ひ晴しませうとの事に夫れではと男時も一時得心し今の場合同居もなり難ければとて別に溫突一間を借り與へ月に五圓宛の手當を給して兎角一段落を告げたるが其後十二月より男時は妻に手當の金を支給せぬより又々茲に悶着を生じ一夜たねは男時の宅に暴れ込むと云ふ始末に立至りたるが壽町三丁目某と云ふ綿屋の主人が仲裁となつて結局包金を差出して愈々離縁と云ふ事に纏まりし處昨紙既載たねの叔母なる櫻井町居住の石工加藤某なる者の內縁の妻森田モヨと云ふが乘出して包金抔は受取るなと大層もない權幕にてたねを引連れ自宅に歸り今尚紛紜の最中との事なるが此の末何と納まる者やら聞くモヨなる女は前記加藤なる石工と國元より姦通なして逃げ來りし程の女とて是れ迄男時とたねの仲を種々離間なさんとせし事もありとの事なれば是非の判別は此の末ならでは決せざるべし（完）

ハレー大彗星

▽愈々其の尾を現す

先頃突然に現はれたる大彗星は何億万哩といふ遠方に行つて見ゑなくなつたが今度は甦て評判されて居るハレー彗星が段々小さな望遠鏡でも見ゑる樣になつて來て今月末には肉眼で見ゑるかも知れぬ所が世界一の望遠鏡を有つ米國エルクス天文臺のフロスト博士は一月十日に是迄星雲の樣に見ゑたハレー彗星の頭の後の方に眞直に尾が擴がつて居るのを發見したが尾は矢張明瞭して約十秒程の長さに六十九度の角度を有つて居るとのことである此のハレー彗星を去年の九月初めて發見した時は殆んど十六等星位であつたが段々地球や太陽の方に近くなるから一月に一度以上も光度を增加して來て居るのも道理ハレー彗星の運動は一時間に百萬哩といふ樣な大速力である昨今は太陽の方には段々近くなつて行くが地球には生憎遠ざかる爲めに光度が增して行くのを見ることが出來ぬけれど今月の末には日の入後西天にあるから望遠鏡でなくて見ゑるだらう若し見ゑなければ四月の末迄は太陽の後の方を通つて居る故に見ゑないが四月末には日の出前二時間半位に見ゑ五月十九日には太陽面を經過して同月二十一日からは夕方立派に長い尾を曳いて見ゑるだらう其の時尾の長さは三千萬哩も擴がつて十九日には地球が尾の中を通過すると云ことである

韓農民の獻上品

▽六箇年の貯金にて調達

江原道洪川郡後村農梁吉文道（三七）は去る十四日東部警察署に出頭し飴、實、葡萄各一籠に二通の書面を添へ韓皇に獻上方を申出でたるを以て同署に於ては時節柄の事とて吉文道を取調べたる所精神には別に異狀なく彼れの申立てに依れば吉は幼少にして父母を失ひたるも尚今日あるを得たるは皇恩の然らしむる處、されば六箇年蓄積したる貯金にて右の物品を調達したるなりとの事にて上奏文の文意は一は孝道を說き一は蓄財の貴ぶべきを述べたるものなりしかば同署に於ては觀察使の手を經べき旨を諭示したるに頗る落膽の色ありし哀情察すべきもののありたれば內部大臣官房と交涉の結果今回に限り之れを傳奏することゝしたりと

●斷指學童の血誓

▽缺席者あるを憤慨し

咸興南道北靑郡下市面晩春甲なる普新學校生徒同面小晩春九統九戶漁業者鄭成模長男顯松（一二）は此程何に感じたるか例の韓人には珍らしからぬ斷指血誓を行ひたれば何事ぞとその原因を訊し見たるに同地方は目下漁期に際せる爲め學童は稼業の手傳に逐はれ學校は概ね缺席勝ちの者多きより大いに之を憤慨し己れ一人は何如なる事あるも缺席せざる旨を誓ひたる由申出たりと也

●渡韓が因の厭世

▽路傍に橫はる一靑年

仁川朝鮮町居住の阿部新と云ふが再昨夜午後十二時頃同地京町魚市場前を通行しつゝありたるに路傍に當り時ならぬ人の泣聲聞ゆるにぞ審しみ恐る〳〵近寄りたるに年齡廿五六の男が路端にひれ伏し聲を揚げて泣き叫び居るものから取敢へず其夜は附近の韓人宿に連れ行きて泊らせ翌十六日午前八時頃京町派出所に右の旨本人同行屆出でたるにぞ係り警官は前記男を取調べたるに生れは大坂北河內郡四條村飯原惣太郎（二七）と云へる者にて大阪西區京町堀三丁目白井彌太郎方に奉公せしも面白からず本年一月廿一日大志を抱いて玄海灘を渡り京城に於て然るべき職もがなと血眼になりて搜し求むれ共格好の口も無きものから本月十四日仁川新町居住の空瓶商北原某なる者を僅かの傳を求めて賴り來りたれど此處も先年來の不景氣の爲め面白からざるのみか兼て大阪を出發する際に描きし空想と現實とは背馳して見るも哀れなる境遇を嘆つに伸れ味氣なき世に厭氣を催ふし十六日の午後七時を期し前記北原方に於て自殺する決心なりしと涙ながらに物語りしにぞ警官は其不心得を懇ろに諭し放還したる由なるが是れぞ靑年の好き戒と云ふべし

●駈落女郎の逮捕

去る十三日の夜仁川歌舞伎座にて怪しき男女の觀劇せるを視たる仁川署刑事は總て閉幕後同人を尾行したるに新町なる金村旅館に入れり翌十四日宿帳を調べたる處男は東京本鄕湯島石井巖雄女は大阪西尾うのと記しあれど什麼やら不審の點あるにぞ同日仁川署に同行して取調べたるに右は眞赤な僞名にて實の處は廣島縣福山町濱田三藏（ヨ二）及び大阪生れ淺野とま事釜山遊廓南海樓の抱娼妓梅子（二〇）と云へる者にして右三藏が釜山南濱町にて用達業を營める際件の梅子と馴染み切るに切られぬ緣にもつれて共に手に手を取り大連に高飛を企て仁川まで來りたる處を取押へたるものなるが昨日追手の者に引渡したりと

●惡通關師の公判

仁川惡通關屋土屋茂吉及び松井次郎吉に對する第二回公判は今十八日午前十時より京城地方裁判所仁川支部に於て開廷せらるゝ筈なり

●立小便から引致

山口縣生れ菓子職當時住所不定の關好介（二九）と云ふは十六日午後八時頃永樂町赤門前道路にて立小便中を巡査に發見せられ說諭を受けたるが浮浪者たるの疑ひあるを以て一應連れ取調たる處浮浪者にもあらぬ事判明して其儘放還

●火事場泥棒の逮捕

仁川外洞果實小賣業山本熊太郎（三八）と云ふは去る十日新町出火の混雜に紛れ込み大蒲團外五點を窃取隱匿せる事實現はれ一昨日仁川署に引致さる

●仁川の盜難頻々

仁川に於て先般來盜難相踵ぎ人心恟々の狀態にありしが仁川署に於ては之れが犯人の檢擧に努めし結果去る十四日より昨日に至る間に於て强盜犯二名を逮捕し目下取調べ中なりと云ふ

●新町の健康診斷

一昨十六日の新町遊廓健康診斷の結果は入院三名自宅診斷四名休業通院七名就業通院七名退院者二名なりし

●一昨日の新町

新町遊廓一昨日の登樓客は七十名にして其の消費金高は二百九十四圓六十五錢なり

●歌舞伎座　同座本晩の替り狂言は「仇結び」の通し物にて今嬢つや子を小泉紛し田宮は下男大吉に扮する由

●壽座の桃中軒　例に依て每夜大入大喝采の壽座桃中軒本晩の語り物
一中山安兵衛生立より高田馬場駈付　二　席
筑前琵琶　平野次郎（子別れ）

●演藝館の披露　農商工部通りに新築落成したる京城高等演藝館にては今十八日午後六後より重なる官民數百名を招待して活動寫眞開場披露を爲す由なり

平民文庫

▲去年の夏は朝顔の培養と……云ふも凄まじいが……七八種を播種して見たがヤンマと失敗に終つたので然らばとあつて秋蒔き西洋草花の幾種かを播種して試たが是れ又美事失敗に歸した、前者の失敗は僅かに自身の失策として責任の負擔を辭することは出來ぬが、後者の夫は破睨冠者雀君の沒風流に原因したのである、此の害を防ぐべくして本年は一つ春蒔西洋草花の栽培を試むべく目下準備中だ（紅）▲僕が十六日梅毒病院に至りしに五人の來客ありし中に二人の美人あり僕は用事の都合にて少々待つ間に聞くとはなしに話を聞けば實に驚くれのろけ話しの最中なり其の女こそは一人は中の新地日の出樓の松本とゆ子今一人は西小門通りのれさつとか云ふ人とやら實に京城の風俗には驚かざるを得ない（蘇石生）▲名譽の負傷のため病院通ひだ夫れよりは堅氣の家の奧さんで梅毒に惱んで居る方の多いのが憤慨に堪ゑないよ（小僧）▲旭町一丁目山陽亭の子供は誠に克く揃ふて居る其の顔の美麗とその來客の取扱ひなどは到底他の同業と同視する事は出來ない此れも皆彼の五尺に足らん膓滿が日頃養成の巧智かと思へば實に膓滿君と絕叫せざるを得ない（夜行生）▲井門支店の幸子さん甘つたらしい言葉でアドケない所に言ふに云はれぬ味がある誰れやらが云ふて居たよ又同店の妻枝は實に可愛い妓だと頻りに惚氣を言つて居た人がツイ其所等に誤座る妻枝はん定めし嬉しからう（僕も好生）▲南山樓歌英女郎に注告す君の許へ長の月日數知れず通つて居た〇〇君近頃打つて變つての辛抱者の樣見せかけて軒續きへ幾度となく出かける樣子アテにならぬは男心と秋の空、ア、僕は同情に堪ゑん（ケーエヌ生）▲龍山和歌の家のれ春さん一昨日の午後二時頃新町裏の山の中で井門支店の駒龍女郎と龍子女郎と三人で誰れの惡口言つて居たのアンナ事を云ふと人が笑ふよ（稻荷大明神）▲新町三丁目の遠山商店の內幕と同家の秘密室とでも云ふ裏の長家即ち新町魔窟場の內幕並に此所に最も能く出入する女郎の名を素破拔は如何や（郷の人）▲れ知せ下さい（係）

●天氣豫報（自十七日午後六時至十八日午後六時）

北西の風曇後晴

十六日（華氏）　最高溫度　三九、七　最低溫度　二八、九

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲紙料紹介欄▼

人事部

●望上女中 十五六歳の女子高等學校 上女中見習たし俸給望ます 氏名在社(八)

●販賣見入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)

物件部

●貸家 西大門内 六疊三 四疊半並に炊事場付 安に貸したし 所清水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番 本町四 贊化堂藥店に限る

●老舗讓渡 本町一丁目目抜の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

●貸家 南大門外吉野町一戸建 停車場に近く南大門外に長屋建もあり 希望の方は電話七四番

●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人堅實ならば最佳 氏名在社

●諸藥書讓渡 日韓未使用紀念藥書 價讓渡たし 氏名在社(九)

廣告

診察時間改正廣告
二月一日より松村先生の診察時間を左の通り改正す
自午前九時至正午
但他は從前の通り
龍山榮町(電話六〇三番)
龍山醫院

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

入院隨意
龍山新市街山下町
内科 小兒科 眼科
原醫院

入院隨意
内科 外科 小兒病 梅毒淋病
京城本町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

入院隨意
京城本町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
京城本町六丁目
播本(ハリモト)商店
電話百拾番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん
膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉
電話千四百十一番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

●唐津石炭 直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り
近藤商店
電話八百三十五番

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎携帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢
右發賣致候以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層普及を致し大日本協約、官制、官規、俸給等の現行法規殆ど其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日を以て發行致候に付ては御購入の御方に限り前回發賣の分と引替に應ずべく候間此期間に於て御購入の御方は本月十日迄御申込の順序に依り特別減價を以て御申付け度奉願上候敬具
明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

神戸賛生分院
京城相生町(南門湯横)
京城梅毒病院
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
(電話一二九四)
院長 醫學得業士 廣田敏平

荒物世帶道具一切
大坂大合製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目録御入用の御方は御通知あり次第發呈申上候
荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サツポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
合西崎嘉七本店
電話長二一〇電話(二ヵ又は二)
振替貯金口座東京(九四一七番)

醫學士北村一等軍醫正(呼吸器病及消化病擔任)を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す
但し名譽院長出診は毎偶數日(丁日)午後とす
病室落成 入院隨意 貧民施療
贊化病院
本町四丁目
電話二四番

特約販賣
味噌 漬物 醬油 卸問屋
京城本町五丁目
自製
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、㋑糯酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御室に依り商品切手調進仕候

改修落成と電話開通
久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

●京城御成町南大門外一丁南
外科 内科
梅毒痳病專門
戸田病院
●入院隨意
●電話番號九三八番

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病徽毒泌尿生殖器科)教室に奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病徽毒痳病膀胱病生殖器機能障碍の診療に從事
診療(午前自八時午前二時迄 夜間自五時九時迄)
入院隨意
南大門通三丁目
支那領事館前通 京城郵便局後
院主 佐藤伊
佐藤皮膚病院
電話一一七三番

東京
足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ッ角
御問屋 唐川商店
電話二六一番

滋養 牛乳 消毒
京城大和町一丁目
平山牧場
電話

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

★株式會社百三十銀行京城支店
京城本町二丁目十五番
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大礒、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、盛岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

株式會社 十八銀行京城支店
京城南大門通
(電話四二〇)
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店 長崎市築町
支店 出張所
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行
山東丸 二月 日後三時出
相模丸 二月十五日正午時出
●大連、太沽行
山東丸 三月二日 午前六時出
●大連、太沽行
酒田丸 三月 五日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行
立神丸 二月十六日午後時出
御注意
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事